

市長に請願

昨年3月に子ども食堂への支援制度創設の請願書が、市議会にて採択され、市長に要請するとありました。それを受けて、2017年度4月から山の田まちづくり協議会で「生野きらきら子ども食堂」へ食材費を助成して頂ける様になり、安堵していました。それが10月になって「食材費は出せない。」とまちづくり支援課からことわれ、びっくりしました。そこでまちづくり支援課、福祉部、子ども未来部などの部長・課長などに、支援のお願いをしましたが、どこもなすり合いでしたので、市長に直接請願にいきました。市長は共鳴してくださり、すぐに担当部長に進めるよう指示して下さいました。

良き知らせを待っています。

今後、子ども食堂の広がりが期待できると思います。

この件で1年近く奔走し、そこから感じたことですが

- (1)縦割り組織の欠点
- (2)まちづくり交付金のがんじがらめの規定
- (3)物事をポジティブに捉えないで、守りばかりの行動
- (4)やる気を感じられない職員の多いこと・・・等々、

改革して行かないとこの街は潰れて行くのではないかと危惧しています。市民がもっと物申す事が今一番必要な事だと思います。

